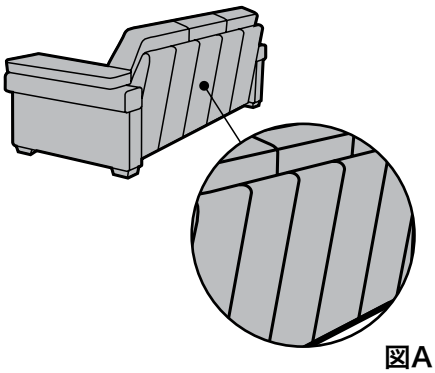
ソファーの張り地

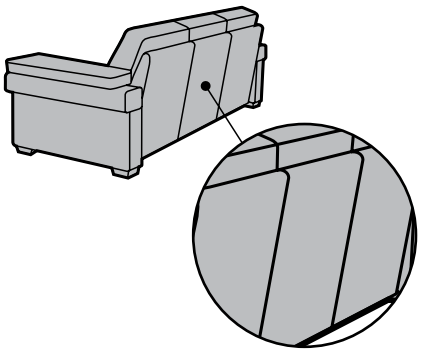
当社のソファーの張地には次の素材が使用されています。

皮革
マイクロファイバー
ファブリック

ファブリックまたはマイクロファイバーを使用したモデルと比較して(図B)、皮革の場合、縫い目が多くなる場合があります(図A)。



図A



図B

また、ファブリック組成の違いにより、縫い目のタイプが異なったり、縁取りがない場合があります。

皮革カバーのお手入れ

皮革のソファーを購入されましたら、次の内容を慎重にお読みください。お選びになった皮革製品（Protecta皮革またはNatural皮革）の取り扱いには特にご注意ください。この特別なカバーに関するお手入れ、メンテナンス、注意についてのアドバイスをよくお読みください。
Natural皮革は上品な素材で、時間がたつにつれてさらに価値が上がるものです。季節の寒暖に関わらず、皮革はその蒸散作用および柔軟性により理想的なコンフォートを提供します。さらに、皮革は体の形にぴったりフィットするので温かく抱擁されたような感覚を得ることができます。それぞれの皮革には傷跡、虫刺されの跡、しわ、筋、手触りや色の違い等、表面に自然にできた跡が残され、それまでにたどってきた物語を読み取ることができます。
このため、当社の職人は一枚ずつ皮革を検査し、それぞれの自然の特徴を生かすよう様々な方法で加工を施し、いろいろなデザインや縫製に対応できるような皮革を作るのです 。

PROTECTA皮革

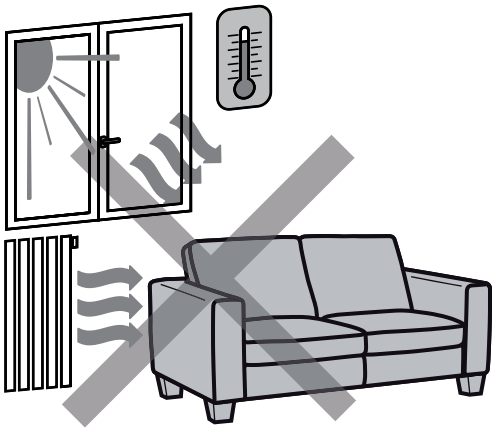
Protecta皮革は、なめし工程の中で、皮革に保護機能をもたらした皮革です。
薄膜加工で本来の特徴を維持したまま皮革に傷やしみがつかないように保護します。
Protecta皮革は、天然素材の特徴を生かしたまま、磨耗および変色に対する高い耐性を持ち備えているのが特徴です。
癒えた傷跡、手触りの違い、しわ、色の違いなど、さまざまな天然素材の“証”が見えます。
それらは正真正銘の本物素材であり、すばらしい価値の証拠と言えます。

Protecta皮革のクリーニング

• 清潔で乾いた滑らかな白い布で定期的に埃をはらってください。
• ジュースやコーヒー、紅茶、牛乳、チョコレート、油脂、化粧品、ファンデーションクリームなどでついたシミ・汚れは、吸収性のある布か紙を軽く押し当て、すぐに表面からふき取ってください。それから石鹸水で湿らせた布で、シミの外側から中央に向かってやさしくぬぐってください。皮革の表面を濡らさないでください。濡らしたら、すぐに清潔な布で表面を乾かします。
直射日光やヘアドライヤーで皮革を乾かさないでください。

注意

- **カバーの色を保つため、直射日光や強力な照明器具に当てないでください。**
- **上記の条件下にソファを設置されたり、その他の洗剤や洗浄液をご使用されたりすることにより、修復できないほどのひび割れや、変色をおこすおそれがあります。**
- **お手持ちのソファと同色の新しいソファをご購入される場合、天然皮革の様々な特性のため、若干色みが異なることがあります。**



NATURAL皮革

Natural皮革は、皮革の本来持つ天然素材の特徴に変化を加えない方法でなめされています。癒えた傷跡、手触りの違い、しわ、色の違いなど、さまざまな天然素材の“証”がより見えます。それらは正真正銘の本物素材であり、すばらしい価値の証拠と言えます。

NATURAL皮革のクリーニング

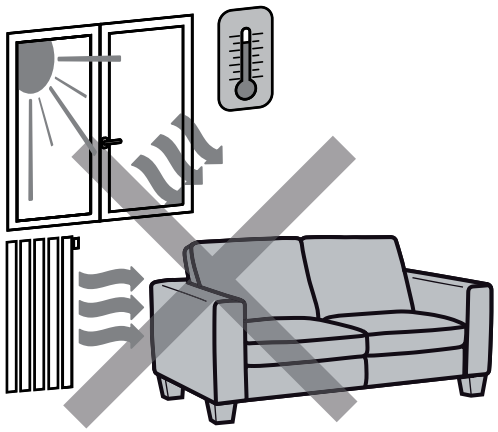
- 清潔で乾いた柔らかい白い布で定期的に埃をはらってください。
- 乾燥した汚れの場合：柔らかい毛のブラシで優しくブラッシングするか、吸引力を弱度にして掃除機を使用します。この場合は、掃除機の付属ブラシを使用し、皮革表面に直接押し付けないよう注意します。
- 水溶性のしみ(ジュース、コーヒー、紅茶、牛乳、ジャム)：柔らかい白い布(またはティッシュペーパー)で表面から液体をすばやくふき取ります。その後、水をしみこませた清潔な布でしみの外側から中央に向けてやさしくぬぐいます。清潔な布ですぐにふき取ります。皮革の表面を濡らさないでください。濡らしたら、すぐに乾いた布でふき取ります。直射日光やヘアドライヤーで皮革を乾かさないでください。
- 油性のしみ(油、ケチャップ、マヨネーズ、チョコレート)：ティッシュペーパーを使用して表面からやさしくしみを取り除きます。皮革の内部に汚れがしみこまないよう圧力をかけないよう注意します。非常に薄い中性石鹸水に浸した清潔な布でしみの外側から中央に向けてやさしくぬぐいます。
- 清潔な布ですぐにふき取ります。水および無色のマイルドソープのみを使用します。

Natural Nabuk皮革のクリーニング

Natural Nabuk皮革もNatural皮革の仲間で、上記に挙げたNatural皮革の特徴と同様です。
“ヌバック効果”とは、皮革の表面をごく軽く摩擦した結果生まれるもので、ベルベットのような手触り感が特徴です。
・これらの皮革はNatural皮革製品と同様の方法でクリーニングすることができます(前述をご参照下さい)。
・皮革表面をクリーニングして乾かした後、サンドペーパーで非常に優しくこすると、“ヌバック効果”を出すこともできます。

注意

- **ソファーをヒーターや暖房器等の熱源から50cm以上離れたところに設置してください。**
- **皮革の色を保つため、直射日光や強力な照明器具に当てないでください。**
- **上記の条件下にソファを設置されたり、その他の洗剤や洗浄液をご使用されたりすることにより、修復できないほどのひび割れや、変色をおこすおそれがあります。**
- **お手持ちのソファと同色の新しいソファをご購入される場合、天然皮革の様々な特性のため、若干色みが異なることがあります。**



‘Protecta’または’Natural’皮革で見られる自然の特徴を以下に記載してあります。

しぼのない部分

傷

傷跡

しぼの違い

虫刺されの跡

しわ

長い筋

色合いの違い

マイクロファイバーおよびファブリックソファーのお手入れについて

当社ではソファーのカバーに最適な素材を選別しています。ファブリックは世界でも大手メーカーが製造したもので、品質とイタリアンスタイルの理想的なバランスを表現し、やわらかさと実用性を併せ持っています。すべての製品で耐摩耗性を示すマーティンデール試験等の品質試験を実施しています。ファブリックまたはマイクロファイバーソファーをお買い上げの場合、次の説明をお読みください。特にお客様のカバータイプのお手入れとメンテナンスに関する推奨事項(クリーニングコードAおよびC)は重要です(図A)。
カバーリングの場合はシートクッションの下、カバーリングでない場合はソファーの下にあるラベルにも推奨事項が記載されています。

カバーのクリーニングを適切におこなうために守る記号

水洗い不可

水洗い、低温(最高30°C)

水洗い、低温(最高40°C)

ドライクリーニング、テトラクロルエチレン使用
(洗濯機のデリケート設定)

ドライクリーニング、テトラクロルエチレン使用

ドライクリーニング、フルオロカーボン使用

アイロンがけ、最高100°C
スチーム不可

アイロンがけ、最高150°C

アイロンがけ、最高200°C

アイロン不可

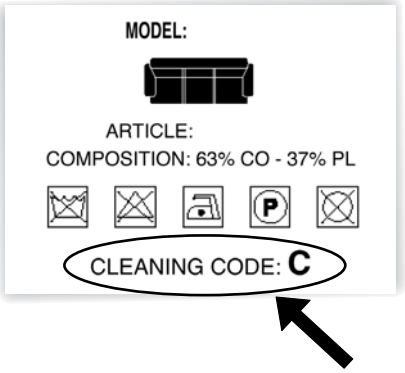
塩素系漂白剤使用不可

タンブル乾燥不可

タンブル乾燥可
(低温設定)

タンブル乾燥可
(通常設定)

図A



CO	綿
SE	シルク
LI	麻
PA	ポリアミド
PC	アクリル
PL	ポリエステル
PU	ポリウレタン
VI	ビスコース
AC	アセテート

マイクロファイバー

マイクロファイバーは編み目の密度が非常に高い合成ファブリックで、耐磨耗性のためカバーが実用的でエレガントなのが特徴です。

クリーニングコード"A" - マイクロファイバーカバー

次の手順に従い、しみの種類に応じてマイクロファイバーのしみを落とします。

酒類

ティッシュペーパーか白の滑らかな布で軽く叩き、シミを落とします。シミが取りにくいようであれば、無色の石鹸水を容器に入れて振り泡立てたものを使用して洗います。それから水で希釈した10%の変性アルコールでシミを落とします。

ヘアドライヤーの温風ですぐに乾かします。シミの外側から中心に向けて温風を送ります。

ジュースやワイン

ティッシュペーパーか白の滑らかな布で軽く叩き、シミを落とします。シミが取りにくいようであれば、酢と水を1:1に希釈した溶液でシミを落とします。無色の中性石鹸水を容器に入れて振り泡立てたものを使用して洗います。最後に、水で湿らせた布で石鹸成分をふき取ります。ヘアドライヤーの温風ですぐに乾かします。シミの外側から中心に向けて温風を送ります。

コーヒーや紅茶

ティッシュペーパーか白の滑らかな布で軽く叩き、シミを落とします。シミが取りにくいようであれば、無色の石鹸水を容器に入れて振り泡立てたものを使用して洗います。それから水で希釈した10%のアンモニアでシミを落とします。ヘアドライヤーの温風ですぐに乾かします。シミの外側から中心に向けて温風を送ります。

ビール

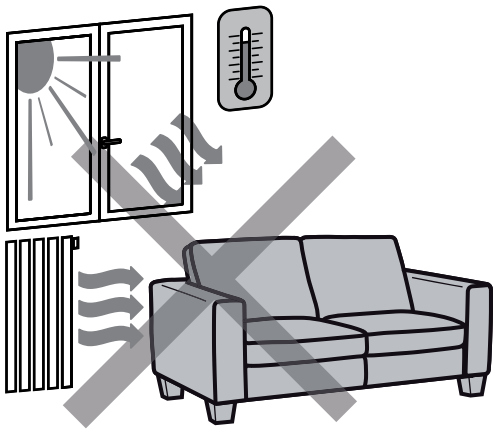
ティッシュペーパーか白の滑らかな布で軽く叩き、シミを落とします。シミが取りにくいようであれば、3%の変性アルコール水(最高40°C/104°Fまで)でシミを落とします。ヘアドライヤーの温風ですぐに乾かします。シミの外側から中心に向けて温風を送ります。

油

ティッシュペーパーか白の滑らかな布で軽く叩き、シミを落とします。無色の石鹸水を容器に入れて振り泡立てたものを使用して洗います。ティッシュペーパーでできるだけシミを吸い取ります。シミが取りにくいようであれば、テトラクロルエチレンをしみこませた白の柔らかい布でシミを落とします。ティッシュペーパーを使用してできるだけシミを吸い取ります。ヘアドライヤーの温風ですぐに乾かします。シミの外側から中心に向けて温風を送ります。

注意

- **ソファーをヒーターや暖房器等の熱源から50cm以上離れたところに設置してください。**
- **皮革の色を保つため、直射日光や強力な照明器具に当てないでください。**
  柔らかい毛のブラシで優しくブラッシングするか、弱程度の出力の掃除機を使用してほこりを取り除きます。この場合は、掃除機の付属ブラシを使用し、皮革表面に直接押し付けないよう注意します。
- **外見の美しさを保つため、シミが着いたら染み込む前にすぐに落とすようにしてください。そうすれば、手入れを長引かせたりこすったりする必要はありません。**
- **溶剤を使用する必要がある場合、しみに溶剤を直接かけないでください。溶剤を清潔な布にしみこませます。ソファー表面張地の見えにくい部分でまず試してからお手入れをおこないます。**
- **外側から中央に向かって円を描くように汚れを落とします。**
- **しみは必ず丁寧に落とします。**
- **お手持ちのソファと同色の新しいソファをご購入される場合、天然皮革の様々な特性のため、若干色みが異なることがあります。**



ファブリックカバー

当社のファブリックにはドライクリーニングと水洗いの二通りの洗濯方法があります。
ドライクリーニングは有機溶剤を使用して洗濯するものです。その過程には、洗い、すすぎ、乾燥があります。洗浄後、ラベルに記されている方法に従いアイロンをかけてください。
カバーをドライクリーニングするときは専門のクリーニング店に依頼してください。
水洗いは水でファブリックカバーを洗濯します。その過程には、洗い、すすぎ、乾燥があります。洗浄後、ラベルに記されている方法に従いアイロンをかけてください。カバーを水洗いする際、ソファーのラベルに記載されている洗濯の最高水温に注意してください。

注意

- **ドライクリーニングで洗濯するファブリックは、水洗いしないでください。また、水洗いで洗濯するファブリックは、ドライクリーニングしないでください。洗濯後ファブリックがソファーサイズにぴったりと合わなくなるおそれがあります。**

カテゴリー"C"カバーのクリーニング

酒類、ジュース、ワイン、コーヒー、紅茶、ビール、油
吸収性のある紙か白の滑らかな布で軽く叩き、シミを落とします。しみが取りにくいようであれば、一般的なスーパーマーケットで購入できる乾燥しみ抜き剤を使用します。しみ抜き剤を使用する前にカバーの見えにくい部分でファブリックの反応を確かめます。大きく、落ちにくいしみの場合には、専門のクリーニング店にご依頼ください。

注意

- **ソファーをヒーターや暖房器等の熱源から50cm以上離れたところに設置してください。**
- **皮革の色を保つため、直射日光や強力な照明器具に当てないでください。**
  柔らかい毛のブラシで優しくブラッシングするか、弱程度の出力の掃除機を使用してほこりを取り除きます。この場合は、掃除機の付属ブラシを使用し、皮革表面に直接押し付けないよう注意します。
- **外見の美しさを保つため、シミが着いたら染み込む前にすぐに落とすようにしてください。そうすれば、手入れを長引かせたりこすったりする必要はありません。**
- **溶剤を使用する必要がある場合、しみに溶剤を直接かけないでください。溶剤を清潔な布にしみこませます。ソファー表面張地の見えにくい部分でまず試してからお手入れをおこないます。**
- **外側から中央に向かって円を描くように汚れを落とします。**
- **しみは必ず丁寧に落とします。**
- **お手持ちのソファと同色の新しいソファをご購入される場合、天然皮革の様々な特性のため、若干色みが異なることがあります。**